

第85回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：令和元年11月28日（木） 13：00－14：00

2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

（1）委員

葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、遠藤委員、折木委員、中須賀委員

（2）政府側

内閣府宇宙開発戦略推進事務局

松尾事務局長、行松審議官、鈴木参事官、滝澤参事官、中里参事官、星野参事官、森参事官、吉田参事官

4. 議事要旨

（1）「宇宙基本計画工程表の改訂案について」事務局より説明を行い、宇宙政策委員会として原案どおり決定をした。委員からは以下の様な意見があった。（以下、○委員からの意見 ●事務局からの回答）

○今回の工程表改訂に加え、大きな政策の方向性については、基本計画改訂の中で検討していくのか。

●そのとおりである。

○安全保障分野については、防衛大綱に基づく取組と宇宙基本計画及び工程表に基づく取組を整理しながら、進めていく必要がある。

（2）「宇宙基本計画改訂に向けた検討状況について」事務局より説明を行った。委員からは以下の様な意見があった。（以下、○委員からの意見）

○安全保障、民生利用、産業・科学技術基盤という政策の3本柱を予算面でも実現していくことが重要である。そのためにも、Society5.0や安全保障における宇宙の重要性など、大きな視野で宇宙の役割を考えていくことが重要である。

○世界の技術が進化するなかで、日本は海外に比べて、新しい技術を試す機会が少ない、プロジェクトが多すぎて、基盤技術への手当が少ない、などの課題がある。JAXAのリソースの再配分などを考え

ていく必要がある。

○宇宙政策を進める上で、定量的な目標値とそれを事後的に評価する仕組みが必要である。

○個々の政策を考える前提となる日本としての大きな戦略の整理が必要。例えば、国際宇宙探査への参画において、科学技術の観点のみならず、日本として戦略的に何を目指すか、どこまで関わるかをしっかり議論することが重要である。

○海洋と宇宙の連携をさらに進めることが重要である。

以上